

2020年2月26日

一般財団法人三重YMCA 2020年度事業計画書

【計画期間：2019年度～2021年度】

§1 意義

一般財団法人三重YMCAは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」
(ルカによる福音書13章29節)

§2 経営理念（ミッション・ステートメント）

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

§3 経営ビジョン

教育と諸活動をとおして人々の成長に貢献する。

そのために、まず安定した財務体質を確立する必要がある。

これを実現するため、現有資産（人・物）を活用し、新プログラムを実施する。その結果、3年後には

売上高40,000千円、経常利益5,000千円を達成する。

そして、三重YMCAに関わる人々が、参画することに意義と喜びを覚え、笑顔に出会う法人となる。

§4 経営目標（2019～2021年度）

2020年度は、3カ年計画の第2年目にあたる。

経営ビジョンの「安定した財務体質を確立する」ため、引続き2019年度に設定した下記重点経営目標の実現に取り組む。

『重点経営目標』 現有資産(人・物)を活用し収益を拡大する
『完了目途』 2021年度とし、都度見直しを行う。

§ 5 重点施策（2020年度）

目標達成のための重点施策は、2019年度策定のアクションプラン（資料1）を見直す。2019年度は、「現有財産でできること」をテーマに、英検クラスを拡大した。2020年度は、引き続き「現有財産でできること」をベースに、SWOT表に示す「新プログラムの提供」に取組み、商品サービスの向上と三重YMCA支援者の拡大をはかる。

このために、建物空き時間の有効活用ができる内容を選定する。

（重点施策）

- 1 三重YMCAが選ばれる理由（資料3）を確認し、会員増強をはかる
- 2 英検クラス：準1級クラス開講をめざす
- 3 グループによる活動（例：読書会）を実現する
- 4 中国語クラスを新設する
- 5 四日市大学ボランティア部門と連携をとる

§ 6 2019年度の評価と2020年度の具体的施策

1 2019年度の評価

- (1) 第三四半期の売上高、経常利益は、次のとおりであった。

売上高 26,793 千円、目標の 67.0%

経常利益 2,768 千円、目標の 55.4%

これは、職員の努力の結果であり、感謝したい。

- (2) 英検クラスは、5級から準1級の開講を行った。（準1級はプライベートレッスン）

合格者： 準1級 1名（高校生）、 準2級 3名（中学生）、
4級 6名（中学生）、 5級 5名（小学生）

このように実り多い年であったが、受講生は、幼稚園卒園生の枠を超えて、広く集めることに取組みたい。

- (3) 小学生英語クラスへの会話導入は、1クラスを実現した。アプリコット社のテキストを活用している。

- (4) YMCA幼稚園の今後について検討を行った。

認可園となるためには、認定こども園か、保育園への移行があるが、次の理由により、現時点では認可外保育施設としての形態を継続することとした。

ア 認定こども園の認定について四日市市の指針は、入園申込みに関して、4、5歳児は希望する園に申し出で、3歳児は四日市市に申し出でることとなっている。このため、3歳児は三重YMCA幼稚園を希望しても入園できない可能性がある。

イ 10月からの保育料無償化の申請状況から、多くの保護者は、YMCA幼稚園を選択して選んでいることが明らかになった。資料3の三重YMCAが選ばれる理由に挙げたとおりである。

なお、認可園になるためには施設基準をクリアするために移転が必要である。一方現場所では土地の購入か移転が必要となる。いずれの選択も資金が必要となることでは同じである。

2 2020年度の具体的施策

- (1) 各事業について、三重YMCAが選ばれる理由（資料3）を確認しつつ、会員増強をはかる。

- (2) 英検クラスは、広く受講者を得られるよう広報を含め工夫して取組む。また準1級クラスを実現する。

- (3) 新クラスとして、中国語クラスをスタートする（講師あり）。

- (4) 三重YMCAに関わる人を拡大し、三重YMCA活動の広がりを実現する。

これは、プログラム参加者が幼稚園卒園生など限られた範囲にとどまっていることや、賛助会員の関わり方や関心が限定的であることから、三重YMCAの活動に広がりが見られ

ないことによる。

このため、次のプログラムを実現する。

ア 読書会を実現する。

テーマ：文学、歴史、観光、趣味等々。リーダーを決めて行う。

たまには舞台となっている地の探訪も。

イ チャリティウォークの拡大（市民参加型）をめざす。目標：2021年度

このために、他の団体との協働を進める。

(5) 大学生ボランティアを確保するため、行事に応じて四日市大学ボランティア部門との連携を進める。

(6) 引続き、日本YMCA同盟、名古屋YMCAの支援を受ける。

(7) 同一労働同一賃金の実現に取り組み、幼稚園保育士の獲得に努める。

(8) 国際協力と交流事業は、任意団体の国際事業委員会が行っているため、これに協力する。

§ 7 2020年度予算(案)

別紙1のとおり

以上

(添付書類)

- ・別紙1 2020年度収支予算書(案)
- ・資料1 現事業の内容、担当者、課題、アクションプラン
- ・資料2 SWOT表
- ・資料3 三重YMCAが選ばれる理由
- ・資料4 第三四半期の状況
- ・資料5 マンダラート（読書会）